法改正に伴う野生動物医学の役割と未来 ～大きな変換期を迎えた野生動物対策～

森光由樹^{1)*}，福井大祐²⁾

1) 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 / 森林動物研究センター 〒669-3842 兵庫県丹波市青垣町沢野 940

2) 特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所 〒060-0809 北海道札幌市北区北 9 条西 4 丁目 5-2

[2015 年 10 月 6 日受領，2016 年 9 月 4 日採択]

要 約

環境省は，2015 年に「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を改正した。農林水産省が施行した「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」（2013 年改正）では，市町村に，捕獲と被害防除のための予算支援が講じられている。一方で，野生動物感染症による家畜衛生・公衆衛生上の問題が懸念されている。これまで，野生動物医学は，絶滅危惧種の保護増殖，傷病鳥獣の救護，野生動物保護管理，感染症の制御，環境問題などに貢献してきた。しかし，時代の大きな変化とともに社会から求められる獣医師の役割は多様化し変わりつつある。大きな転換期を迎えている。

キーワード：鳥獣保護管理法，法律改正，野生動物医学，野生動物保護管理

— 日本野生動物医学会誌 21(3)：71-72，2016

全国各地で野生動物と人との軋轢が深刻化している。野生動物による被害は農林業被害にとどまらず，「人家侵入」，「器物の破壊」および「人への威嚇」などの生活被害や精神被害にまで及んでいる。さらには，市街地を徘徊し，人身被害を発生させる個体も現れ，被害発生の範囲は拡大しており緊急な対応が求められている。国はこうした問題に対して，野生動物に関係する各種法律を改正した。環境省は，2015 年に「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」，その前の 2013 年には「動物の愛護及び管理に関する法律」と「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」を改正した。

農林水産省が施行した，「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」（2013 年改正）では，市町村に対して，捕獲と被害防除に対して予算支援が講じられている。一方で，野生動物が伝播する感染症（例えば，野鳥による高病原性鳥インフルエンザ）の流行による家畜衛生および公衆衛生上の問題が懸念されている。開業獣医師に持ち込まれた野鳥において，高病原性鳥インフルエンザが認められ社会問題化した。

これまで，野生動物医学は，絶滅危惧種の保護増殖，傷病鳥獣の救護，野生動物保護管理，感染症の制御，環境問題などに

対して貢献してきた。しかし，時代の大きな変化とともに社会から求められる獣医師の役割は多様化し変わりつつある。現在，野生動物医学会が掲げている活動理念の骨子では立ち行かなくなっており，大きな転換期を迎えている。

本特集は，2015 年の第 21 回日本野生動物医学会江別大会において，鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の改正と今後の野生動物医学の役割についてシンポジウムを行った時の記録である。発表者は，1) 鳥獣保護法の改正と今後の野生鳥獣保護管理について，常田邦彦氏（一般財団法人 自然環境研究センター），2) 認定鳥獣捕獲等事業者制度における野生動物医学の役割，須藤明子氏（株式会社イーグレット・オフィス），3) 住居集合地域等における麻酔銃猟許可時における獣医師の今後，森光由樹（兵庫県立大学 / 森林動物研究センター），4) 日本獣医師会 野生動物対策検討委員会の報告 1 ～近年の野生動物の生息環境や人との関係性の変化を踏まえての考え方～鈴木正嗣氏（日本獣医師会 野生動物対策検討委員会，岐阜大学），5) 日本獣医師会 野生動物対策検討委員会報告 2 ～傷病鳥獣救護対策について～赤木智香子氏（日本獣医師会 野生動物対策検討委員会，ラプター・フォレスト）であった。

* 責任著者：森光由樹（E-mail: morimitsu@wmi-hyogo.jp）

The Role and Future of Zoo and Wildlife Medicine Accompanying Reforms in Law: Wildlife Measures over a Significant Period of Change

Yoshiki MORIMITSU¹⁾ *, Daisuke FUKUI²⁾

1) University of Hyogo, Institute of Natural and Environmental Sciences/Wildlife Management Research Center,
Hyogo 940 Sawano Aogaki -Cho Tanba Hyogo 669-3842, Japan

2) EnVision Conservation Office, 5-2 Kita 9-jo Nishi 4-chome, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0809 Japan

[Received 6 October 2015; accepted 4 September 2016]

ABSTRACT

In 2015 the Ministry of the Environment reformed laws relating to the protection of Wildlife Protection and Proper Hunting Law. Budget support by municipalities is planned for preventing the capture and harm of wildlife in the Special Measures Law for the Prevention of Harm to Wildlife which has been enforced by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries. At the same time, there are concerns over the health and sanitation of livestock due to infectious diseases from wildlife. Up to this point wildlife medicine has contributed to such areas as protected breeding of endangered species, wildlife relief, protected management of wildlife, the suppression of infectious diseases, and environmental issues. However, the role demanded of veterinarians by society is in the midst of diversifying as significant changes arise in the current period. We are crossing through a significant turning point.

Key words: law reform, wildlife medicine, Wildlife Protection and Proper Hunting Law, zoo and wildlife management

— *Jpn J Zoo Wildl Med* 21(3) : 71-72, 2016

* Corresponding author : Yoshiki MORIMITSU (*E-mail*: morimitsu@wmi-hyogo.jp)